平成 29 年 9 月 14 日

Reactor Physics Asia 2017 開催報告

部会長　小原　徹

Reactor Physics Asia(RPHA)は日中韓の炉物理部会の覚書により 2 年毎に各国持ち回りで開催されており第 1 回は 2015 年に韓国主催により韓国済州島で開催された。第 2 回の会議が中国主催で 2017 年 8 月 24 日～25 日の日程で中国成都の Chengdu Minya Hotel で開催された。日本の炉物理部会からは、小原（部会長、東工大)、千葉准教授（北大）他 15 名が参加した。

プレナリートークでは、小原が動特性解析手法に関する講演を行い、講演冒頭に今回の開催にあたり中国側の尽力に感謝する旨を日本の炉物理部会を代表して行った。

クロージングでは、京大炉の山中氏より次回会議が 2019 年 12 月 2 日（月）～3 日（火）に日本主催により大阪で開催されることが報告された。各国の学生の論文発表件数は下記のとおりであった。会議参加者は若手が中心で、各発表に対し活発な質疑が行われた。

学生の国別論文発表件数：

（日本：10）

・京大炉：1
・北大：3
・名大：2
・阪大：2
・東北大：1
・東工大：1

（中国：26）

・清華大学：9
・North China Electric Power Univ:3
・NPIC：2
・NuStar：1
・Sun Yat-sen Univ:1
・Xi'an Jiaotong Univ:9
・Harbin institute Tech:1

（韓国：28）
・KAIST：7
・Kyung Hee Univ：2
・釜山国立大：2
・SNU：3
・UNIST：14

以上